

令和4年度 学校関係者評価

1 学校教育目標

「世界に通じる学力」と「リーダーにふさわしい人間性」、「健やかで逞しい心と体」を備え、地域社会をリードし国際社会に貢献できる人材の育成

2 年度の重点目標

- 生徒一人ひとりの確かな学力の向上と進路実現
- 経験・体験を通して「実感」させることを重視した教育活動
- 心身共に健康で逞しい生徒の育成
- 教職員の資質向上、働きやすい職場、開かれた学校づくり

「達成度」は、教職員の自己評価によるものです。

3 学校関係者評価 (A非常に良い(85%以上) B良い(70~85%) C概ね良好(50~70%) D要改善(50%未満))

NO	評価の観点	評価項目	評価内容	達成度	学校関係者評価
			具体的方策・評価の際の着眼点の例		
1	学校運営	組織的學校運営	学校運営について教職員の共通理解を深め、各学年と部の連携を強化し、協働体制を確立する。 <ul style="list-style-type: none"> ・校務運営委員会を中心とした共通理解の深化 ・各種委員会の活性化 ・教職員間のコミュニケーション活性化 	B	・「学校経営の共通理解」は評価点がグッと上がっている。様々な活動を通じて、先生方の縦横の協働体制も確立されているようで、概ね健全な学校経営が行われていると思う。 ・「生徒と向き合う時間の確保」についての評価が、昨年より下がっているのは残念。本末転倒にならないように、時間の使い方を工夫してバランスを図っていただきたい。 ・学校の情報入手について、アンケート結果からもわかるように学級・学年通信が主たる情報源となっている。小中学校でも同様の現象が見受けられる。ホームページが開設されているが、十分に活用されていないことは今後の課題だと思う。 ・ホームページのフォーマットが変わっていないので、新しくするのもよい。ただ、ホームページでの情報発信はもう今時ではないかもしれないため、外部への発信についてはもっと工夫する必要がある。 ・コロナ禍の中で、工夫して運営されていることに感謝する。
2			会議の効率化等を図ることによって教職員が生徒と向き合う時間を確保し、心の通い合う学校づくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の適正化 ・会議の効率化 	C	
3			SSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）事業を積極的に推進し、理数科のさらなる充実と学科改変に向けた検討を進め、学校全体の教育活動の一層の活性化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報の充実 ・定員の充足 ・共通理解と協働体制の確立 ・課題研究、海外研修など各種取組の充実 ・今後の展望や文理融合型カリキュラムについての検討 	B	
4	開かれた学校づくり	学校の情報を積極的に発信するとともに、学校評議員の活用や中学校、家庭、地域社会との連携を通じて、信頼される学校づくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校通信及びホームページ等の改善と充実 ・学校評議員の活用 ・PTA及び家庭との連携強化 ・中学校との連携強化 ・ふるさと貢献活動事業の充実 	B		
5	教育課程教科指導	教育課程の改善	新学習指導要領に基づく教育課程の改善と指導力の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領対応に向けた、各種委員会等での継続的な検討 ・先進事例の研究 ・具体的な改善策の策定 ・指導法と評価法の研究推進、文理融合型教育課程の研究 	B	
6			基本的な生活習慣を確立させ、きめ細かな学習指導を通じて基礎基本の確実な定着を図り、授業への集中力と主体的な学習態度を養う。 <ul style="list-style-type: none"> ・各種学習活動（小テスト、課題調査、補習、模擬試験等）の計画的、効果的な実施 ・個人面談の充実、家庭との緊密な連携 ・学年と各教科及び学習指導部との連携 	B	
7			STEAM教育実践モデル校として、新しい時代のリーダーを育成するための事業を研究・実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を活用したSTEAM教育の推進 ・進路実現につながる教科横断的な探究活動の実践 ・ICTを活用した各種交流（高大連携、国際交流等）の活性化 	C	
8	生徒指導人権教育	生徒指導の充実	他者を思いやる心や人権を尊重する心を持った、礼儀正しく品格のある生徒を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動、いじめ、体罰、自殺等の未然防止（アンケートの実施、面談の充実、家庭との連携強化） ・学年と生徒指導部の連携等による迅速な組織的対応 ・挨拶、掃除、時間厳守励行等の指導 	B	
9			学校行事や部活動に積極的に参加させることにより、健全で逞しい心身の育成と社会性の涵養を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動、ホームルーム活動の活性化 ・学校行事の充実 ・学習と部活動の両立、部活動の活性化と再編の検討 	B	

NO	評価の観点	評価項目	評価内容		達成度	学校関係者評価
			具体的方策・評価の際の着眼点の例			
10	進路指導	キャリア教育の充実	自らの生き方を考えさせ、能力・適性、興味・関心に基づいて主体的に進路を選択し決定できる能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学模擬授業、大学見学、進路講演会等の充実 ・入試情報等についての迅速かつ正確な情報提供 ・人材養成プログラムの推進（就業体験事業の充実） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域では、新卒リターンに向け各種説明会等を開催するなど、若者回復率の向上を目指して取り組んでいるため、そのような活動をしていることを知っておいてもらえればありがたい。 ・進路実現については成果が上がっていると感じる。進学実績は豊岡高校に最も期待されている部分でもあるため、引き続きよろしくお願ひしたい。 ・今後とも、信頼し合える関係の中での進路指導を期待しています。
		進路実現の支援	自己の適性をふまえて明確な進路目標を持たせ、最後まで努力を続ける指導を行い、進路目標を達成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の充実、家庭との連携 ・適切な進路情報の提供 ・保護者会、検討会の適切な企画運営 ・学年と進路指導部の連携 		
12	保健安全 教育相談	保健教育 安全教育の充実	健康診断や健康相談に基づく指導を徹底し、心と体の健康についての自己管理能力を高め、生涯にわたり安全に生活できる実践的能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・検診や相談の事前事後指導の徹底 ・救急救命法講習会や各種講演会の計画的、効果的な実施 ・保健だよりの発行 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・資料として添付されていた学年通信のことばに同感である。人生の最後まで自分に自信の持てる人間はそう多くない。人生に立ち向かっていく強い精神力を持つ人材に育てられることを期待する。 ・教育相談をはじめ、「コミュニケーション」の部分について再チェックをしていただき、相談しやすい環境づくりにより力を入れてほしいと思います。
		教育相談の充実	教育相談を身近なものとし、相談者が利用しやすい環境を整備し、より効果的に機能するようその活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制の確立 ・情報交換と支援体制の充実 ・教職員間の効果的な情報共有 ・教育相談だよりの発行 		
13	教職員の資 質向上	研修の充実	授業公開や職員研修に積極的に取り組み、教職員の専門性と実践的能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開、研究授業の充実 ・職員研修の計画的な実施と校外研修等の成果の共有 ・授業研究ユニットによる指導と評価の一体化の研究 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等を重ね、その効果が実感され、達成度が高く、非常によい。今後も期待しています。 ・1年間本当にありがとうございました。来年も健康に留意していただき、豊高生をよろしくお願ひします。
15	危機管理	危機管理体制の改善充実	家庭・地域・関係機関との連携を密にした危機管理体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル、避難所運営マニュアルの改善充実 ・効果的な防災避難訓練の実施 ・関係諸機関（市防災課、警察、消防署、市教委等）との連携による情報の共有と対応の徹底 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後ますます大切になってくる項目だと思います。特に、家庭との連携が必要だと思います。